



令和5年度になり、10日経ちました。本校の桜は、今年度は開花が早く、場所によっては花びらが散り始めています。

今年度も、生徒自身が自分の学びや生活を調整する力を育成し、個に応じた教育や協働を促す教育の充実を図るために、職員一同、精一杯取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



185名の1年生が入学しました

1月には小学生として学校説明会に参加した1年生ですが、制服を着て、一中の鞆を背負っている姿を見てみると、初々しきがあり、中学生になったと実感している様子がみられました。新しい仲間、担任の先生、学年の先生、教科担任の先生等、新しいことばかりの生活が始まりますが、まずは、中学校生活に慣れ、多くの新たな出会いを大切にしてほしいと思います。



各教室では、教科書等の多くの配布物を確認したり、新担任の話をしっかりと聞いたりしていました。小学校とは違う生活が始まりましたが、中学校の授業や行事等を通して、「こんな自分に成長していきたい」「こんなクラスにしたい」という思いをぜひ現実にしてほしいと思います。

10名の新任職員紹介 (略)

校長講話より～1学期始業式・第77回入学式～

4月6日（木）の午前中に、2・3年生が参加しての始業式を、同日午後、新入生と保護者が参加しての入学式を行いました。

昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、入学式には、2、3年生は参加せず、新入生と保護者の皆様のみでの参加で行いました。そのため、2、3年生は午前中に登校し、始業式を行いました。始業式、そして入学式のなかで、林理恵校長より、次のお話がありました。



昨年冬にお話したことです。一人ひとりの心の中にある「こうなりたいなあ」「できるようにになりたいなあ」という願いをしっかりとした決意にしていくために、まず、目の前の学校生活を大切にしてほしいと、一中生の写真を見ていただきました。自分で歩いて坂道を上って登校したり、膝をついて黙々と清掃したりと、当たり前のことを大切に頑張る一中生の姿を紹介しました。

本日、始業式・入学式を迎え、皆さんの心の中には、どんな思いがありますか。「頑張りたい」という思いが、一人ひとりの心の中に広がっていることと、思います。「初心、忘るべからず」という言葉もあります。今日の思いを忘れずに、日々、励んでほしいと願っています。でも、そうは言っても、だんだん思いが薄れてしまったり、失敗に心がくじけてしまったりすることもあるでしょう。そんな時、見てほしい言葉があります。ステージに向かって右上の額を見てください。達筆なので読みにくいかもしれませんが、ここに書かれている言葉は、「初一念」という言葉です。「初めに心に決めた覚悟。最初の決心」という意味です。この書は、上田市出身の書家、竹内 風聲（たけうち ふうせい）先生が、平成十一年、校舎完成時に記念品として制作してくださいました。それ以来、第一中学校で大切にしてきた言葉です。

初心を忘れそうになった時、そっと見上げてみてください。そして、自分を励ましてください。中学校生活が始まった今日の感動、決心を思い出して、夢を現実のものにする勇気と根気を養っていきましょう。

「今年度はこんなことを頑張りたい」など、年度初めは、昨年度の反省をもとに、自分なりに目標等を考えていると思います。「初一念」を大切に、時には立ち止まり、再び歩み出していく。そんな一年にしてほしいと思います。

